

NEW GARGE MOVIES FOR THIS CITY

インディーズムービー

INDIE'S= MOVIE CINESALAD PRESENTS

<号外>

1992年7月12日
シネサラダワイド発行
発行責任者 現場王

祝! 隔月刊化

〇 どうも、シネサラダです。このたび経営転換...活動を拡大して
中々!というスタッフの意気込みが、この年3回(笑)発行の
新聞を年6回にするという。暴挙とはしませんでした。ウッ! (笑合110)
これからも 仙台に限らず、全国でも少ない 自主映画の情報を
かきあつめて、作ってみたい人におくつゆくという戦いをくりかえして
ゆきたいと思っています。ヨシッ! (自分達をほげます)



△本誌連載「自主映画の作り方」より

次号は 大特集「大感傷仮面」

I.M.O FILM

人も犬も愛もみんな死んでしまえっ エイズもっ



Image illustrated by MIRIU KAKASHI

いがらしみきお製作

大感傷仮面

The masked man with great sentiment

クマガイコウキ監督作品
65min 16mm standard color

△関係者用プレスリ.

細谷隆広の「タリウム2」
製作/いがらしみきお、監督/くまがいこうきの師弟コンビが作った、非営利的カルト映画「大感傷仮面」を見た
「カルトムービー・ブーム」があつて、一部の熱狂的映画ファンが変な映画とあれば、何でも許がって騒いでいた事があった。今回、紹介する「大感傷仮面」、並のカルトファンさえ、ぶっ飛びモノのカルト0級の特殊映画。落ち目のチンピラ改造人間が組の頭に、敵の組の新兵器を破壊する。変身ヒーローアクションが表向きの物語。時には、仁義なき闘いタツ子や渡町東のピンク映画を思わせる。又、突然スクリーンがカラオケボックス化したり、歌あり、笑いあり、涙ありなのだ。実際は少しもそれらの要素性は満たしてくれない。チープだ、と言えはそれつきりなのだが、鈴木清順さんが「建設的なものは吾等でも」とよく言っていたが、今、量かさを求めて空回りしている映画が多い中、こんなにも非建設的な志向を持ち続けている映画はむしろ凄い。製作は、不条理漫画の



▲「大感傷仮面」より、特別北沢の三上寛と、変身する時の大感傷仮面(右)

▲「宝島」6月9日号より
〇仙台で作された16mm作品。
「大感傷仮面」の裏切を大特集!!
ミカ家のいがらしみきお先生にインタビューを
ころみよとか。ついでにサインも1冊だけ
ないだろうとか。スタッフのあつまい本良性が
取材を困難はしていることをだれもしらない。
— ということはない。とにかく、みんな。
(特に、作られたら、キミ)。次号必見!! ホントだよ。

編集長日記



次号(7号)発行日は
8月10日!
八重州書店
などにお
いています。